

スオウクチキレ *Evalea suoana* (Hori et Nakamura)

## 【選定理由】

2014年7月に行われた調査の際、沖島(三河湾)で1個体のみ確認された(早瀬・他, 2015)。その後、2016年と2017年の調査では、佐久島(三河湾)において、本種のみ確認された個体群が確認された(早瀬・木村, 2020)。愛知県下では、2014年以前の本種の分布記録はない。生息密度が低く、分布域も狭い稀少種である。三河湾では、国内に知られる他の生息域と比べても、生息域がより狭く限定的であることから、環境省レッドリスト2019よりも高いランクに位置付けられた。愛知県下では、近年になって初めて存在が確認された種であるため、減少傾向は不明であるが、全国的にも絶滅が危惧される種であり、三河湾での生息地が局地的であることから、絶滅の危険性の高い種と考えられる。

## 【形態】

殻長2.4 mm、殻径1.1 mm程度の丸みを帯びた紡錘形の微小種である。殻はやや厚く、各螺層には細く明瞭な螺溝が刻まれるため、幼層を除く螺塔部には3~4本、殻底には4本の帯状の幅広い螺肋を有する彫刻となる。軟体は淡黄色で頭触角は先の尖る二等辺三角形形状である。

## 【分布の概要】

## 【県内の分布】

現時点では、沖島(三河湾)の潮間帯より生貝1個体のみ確認された(早瀬・他, 2015)のほか、佐久島(三河湾)でのみ確認された個体群の存在が知られる(早瀬・木村, 2020)。

## 【世界および国内の分布】

相模湾(内田, 2018)、三河湾、田辺湾奥(三長・三長, 2015)の分布記録を除くと、今のところ、瀬戸内海、宇和海、有明海にしか見出されていない(福田, 2012)。

## 【生息地の環境／生態的特性】

愛知県内での本種の確認地の環境は、沖島・佐久島(三河湾)の潮間帯の転石地である。転石下のカリガネエガイの周囲に付着する個体を確認された。本種は、内湾のカリガネエガイにのみ外部寄生するとされる(福田, 2012)。ただし、例外的に、田辺湾奥ではトマヤエガイ、相模湾ではアオカリガネエガイに外部寄生する例も知られている(三長・三長, 2015; 内田, 2018)。

## 【現在の生息状況／減少の要因】

愛知県内では、沖島・佐久島(三河湾)の潮間帯転石地で生息確認されたのみである。三河湾内の他の島嶼域でも調査を行ったが、本種の生息地はこの2島以外では確認されなかった。最近、愛知県下での存在が確認されたばかりの種であり、減少傾向が確認されてはいないが、生息場所はきわめて狭く局所的であり、周辺での環境の悪化や開発行為などがあれば直ちに個体群消滅につながる。

## 【保全上の留意点】

現在、本種の生息が確認される転石地の微環境を維持することが最も重要である。

## 【特記事項】

本種の寄生対象種であるカリガネエガイは三河湾内に広く生息するが、その殆どの場所において、本種は生息していない。佐久島(三河湾)は、相模湾での2個体のみ確認された(内田, 2018)を除くと、現時点での本種のみ確認された個体群が確認される東限生息地であり、この地域の個体群の存在が重要であり、保護する必要がある。記載時の属は *Boonea* であったが、近年、所属が変更された(堀, 2017)。

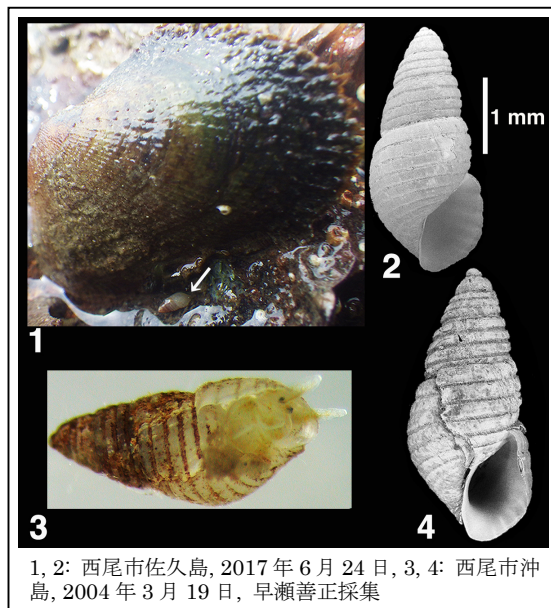
## 【引用文献】

- 福田 宏, 2012. スオウクチキレ, p.84. in: 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑 - 海岸ベントスのレッドデータブック, xvii + 285 pp. 東海大学出版会, 秦野.  
早瀬善正・木村昭一, 2020. 佐久島(三河湾)の潮間帯貝類相, ちりぼたん, 50 (1): 33-79.  
早瀬善正・木村昭一・大貫貴清, 2015. 沖島(三河湾)の転石地潮間帯の貝類相, かきつばた, (40): 23-30.  
堀 成夫, 2017. トウガタガイ科, pp.452-466, 1105-1123. in: 奥谷喬司(編著), 日本近海産貝類図鑑 [第二版], 1375 pp. 東海大学出版部, 平塚.  
三長孝輔・三長秀男, 2015. 和歌山県田辺湾奥干潟に生息する貝類Ⅱ, かきつばた, (40): 2-16.  
内田益次, 2018. 鎌倉市和賀江島に生息する貝類 第3報, かきつばた, (43): 43-44.

## 【関連文献】

- Hori, S. & Nakamura, Y., 1999. Two new species of the Pyramidellidae (Orthogastropoda: Heterobranchia) parasitic on bivalves in Yamaguchi Prefecture. *Venus*, 58 (4): 165-174.  
環境省自然環境局野生生物課稀少種保全推進室(編), 2014. レッドデータブック2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - 6 貝類, 口絵8 + xliii + 455pp. ぎょうせい, 東京.

(早瀬善正)



1, 2: 西尾市佐久島, 2017年6月24日, 3, 4: 西尾市沖島, 2004年3月19日, 早瀬善正採集